

音楽科 3 年生シラバス

1 音楽科の目標

表現や鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽を楽しみながら味わう力を身につける。

2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。 技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。 判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。 表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見聞も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動（歌唱や楽器演奏など）は、恥ずかしがらずに積極的に、楽しみながら一生懸命やりましょう。
- ②必要な知識や技能が定着するよう、最後まであきらめずに取り組みましょう。